

第八十回宗像歌会

令和五年三月十八日(土)

自由

菜の花 タンポポ
ミモザ 黄水仙
春の散歩は
幸福しあわせの黄色が
いっぱい

田上 好江



記念とするもの
何もないなあと
思っていたら
あった、あった
息子こどもを一人生んだこと

岡本 まさ子



土の匂い、
芽吹きや
沈丁花の香りが
鼻腔をくすぐる
さあ！ 春だよ

杉下 啓恵あきえ



頂いた幸福の木
日当たりの良い踊り場に置き
苦手な私が毎日世話をした
花屋さんが見た事が無いと云う
花が咲いたよ！ 開花記念日

杉本 明美



十二年前を
思うと
春も花も
色を失う
消えぬ悲しみと

岡本 まさ子

題詠『記念』

精霊の日
点字ブロックの日
博物館明治村開村記念の日
第八十回宗像歌会
三月十八日今日の記念日

田上 好江



特大の木靴の底に
みんなの寄せ書き
ぎっしりと
忘れられない
オランダの記念品

高原 美智子

寄り添いながら
生きる人生に
気負いはない
結婚記念日はセピア色
私の歴史で宝

玉田 久美子



オブジェのように
裸体をさらす
むくの木は
戦争を生き抜いた
記念樹

宮島 かつえ

